

おち町

No.124

2018 (H30) 5/1
高知県越知町議会

議会だより OCHI TOWN

3月定例会

わたし1年生になりました 4/9(3面参照)

4P 平成30年度一般会計40億5541万円

6P 今年のピックアップ・熱中小学校事業 など

22P 議員報酬改正の諮問要請

3人が一般質問

23P 町長の政治姿勢などを問う

2 キャンプ場オープン
一般会計当初予算 前年度比12.0%減

4 **40億5541万円**

6 今年の事業ピックアップ
熱中小学校事業など

8 どう使う新年度予算（議案質疑）
協力隊、集落支援員など

12 こんなことが決まったぜよ
介護保険料アップ

14 平成29年度補正予算
総額56億8494万円

15 1月・3月臨時会
集落活動センター事業化など

16 総務教育委員会レポート
保育園照明増設工事など

18 産業建設委員会レポート
野老山地区の水道施設整備事業など

20 議会報告懇談会（本村集会所）

22 議員報酬改正の諮問要請

23 **政治姿勢など** 3人が一般質問
追跡! あれはどうなっちゃうが?

27 集落活動センター組織が設立

28 議会ですこんにちは
連載：若者登場③



待望の滞在型観光

キャンプ+遊びの



日ノ瀬キャンプ場は、オートキャンプサイト30サイトと隈研吾氏設計のスノーピーク製『住箱』10棟を備える

拠点施設が日ノ瀬にオープン

充実が今後の課題となる

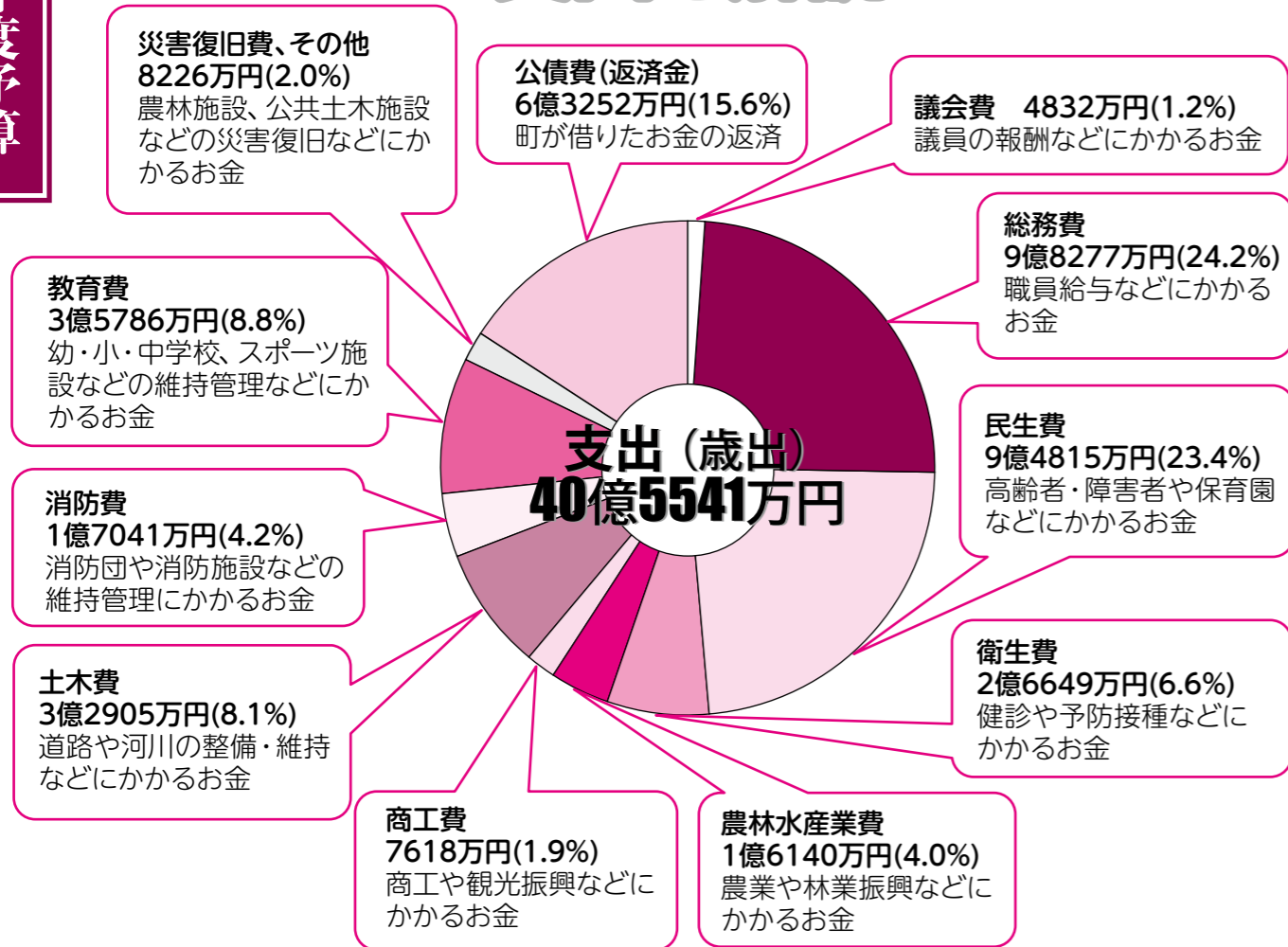
3月定例会は9日から14日までの会期で開き、平成30年度各会計予算、平成29年度各会計補正予算、日ノ瀬キャンプ場など工事請負変更契約3件、条例の一部改正など36件を全会一致で可決し、人事案件2件を同意しました。一般質問【23面から】は3人が登壇し、執行部の考えをいただきました。

平成30年度各会計当初予算

会計名	予算額	前年度予算額	増減	可否
一般会計	40億5541万円	46億914万円	△5億5373万円	賛成・全員
特別会計				
簡易水道	2623万円	2億6361万円	△2億3738万円	賛成・全員
下水道	1億6020万円	1億8138万円	△2118万円	賛成・全員
国民健康保険	7億7902万円	9億526万円	△1億2624万円	賛成・全員
介護保険	10億8130万円	10億6201万円	1929万円	賛成・全員
後期高齢者医療	1億2036万円	1億2560万円	△524万円	賛成・全員
土地取得	45万円	0万円	45万円	賛成・全員
蚕糸資料館	22万円	22万円	0万円	賛成・全員
自然の森博物館	2034万円	2404万円	△370万円	賛成・全員
企業会計（水道）	6282万円	7917万円	△1635万円	賛成・全員
合計	63億635万円	72億5043万円	△9億4408万円	

キャンプ場事業一部完了で5億5373万円の減額

支出を解説



その他の経費 50・5%
 一部事務組合や各種団体への負担金、補助金や特別会計への繰出金など
 その他の経費は、20億4614万円で、全体の50・5%を占める。

投資的経費は大幅減額
 普通建設事業費や災害復旧事業費の投資的経費は、2億5561万円で全体の6・3%を占める。キャンプ場事業の一部が完了し減額となった。

義務的経費 0・5%増
 人件費や扶助費などの義務的経費は、前年度比0・5%増の17億5366万円で全体の43・2%を占める。

一般会計
今年予算を分析

下水道会計
 公共下水道施設再構築基本設計業務の委託料に2100万円。

介護会計
 30年度から新たな保険料が確定し、1651万円の増額。各介護サービス給付費は9億2232万円で、3699万円の増額。

国保会計
 運営主体が県となることから、予算の枠組みを大幅に変更し、全体予算額で1億2624万円の減額。

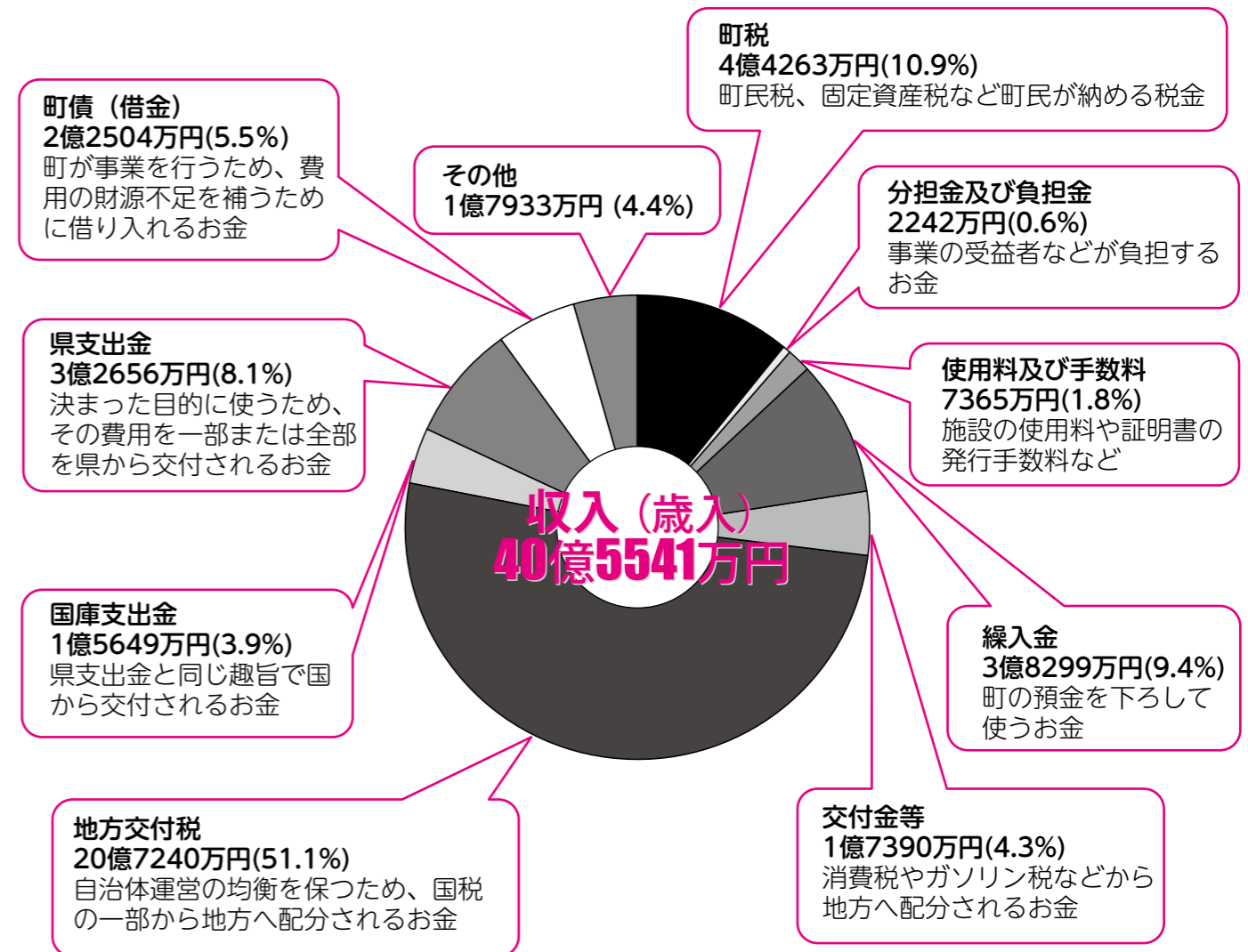
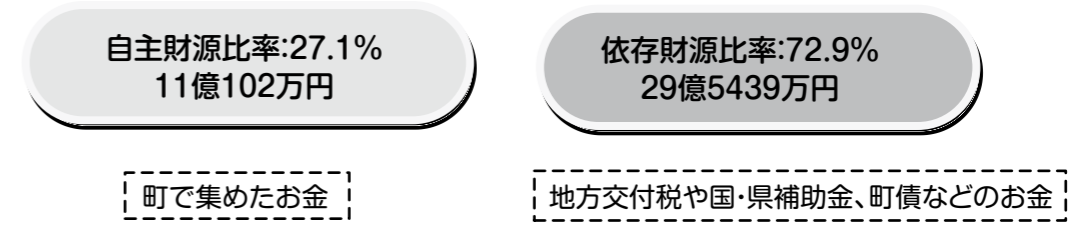
一般会計当初予算

可決

40億5541万円

前年度比12.0%減

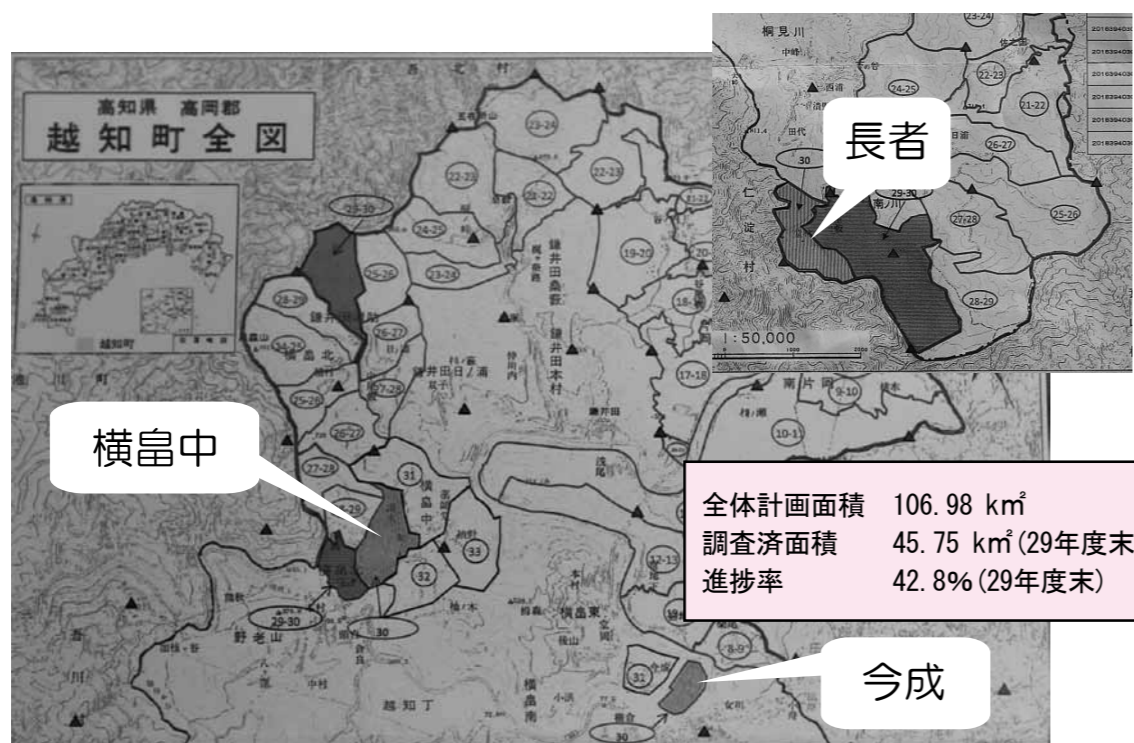
収入を解説





筏津地区給水施設整備事業 410万円

施設の老朽化により漏水事故が度々発生するなど十分な生活用水の確保が困難となっている。また、住民の高齢化のため維持管理に苦慮しており、施設を更新し、安定した生活用水を供給する。



国土調査事業 1億2531万円

一筆毎の土地の所有者、地番及び地目並びに地籍に関する調査を行います。地図及び簿冊を作り、地権者に関覧承認後、地籍図と地籍簿が登記所に送付されます。

平成8年度から事業を開始し、進捗率は42.8%となります。29年度に清助の一部・横島北の一部・南ノ川の一部の現地調査及び処理が完了し、30年度に地権者関覧となります。30年度は、横島中の一部・今成の一部・長者を現地調査及び測量を行います。

今年の事業ピックアップ

30年度当初予算の中から、注目する事業を取り上げました。
予算額は、30年度のみ
の金額で、複数年事業のもの
もあります。



伝行事の継承が危惧される桐見川
西浦地区の「七夕」

集落支援員事業
698万円

【9面に関連記事】

地区の「目配り」や集落の状況把握、地域と行政のつなぎ役として活動する。高齢などの理由により、町まで出荷できない方の代理出荷や、これまで行ってきた行事や活動が難しくなっている現状を踏まえ、集落活動の維持支援を行う。



山形県高島町で開催された「熱中小学校」
オープンスクールを町職員が視察

熱中小学校事業
604万円

【9面に関連記事】

越知町版の熱中小学校は、「越知ぜよ!熱中塾」として名称が決定し、10月開校に向け、生徒募集等のためのPR等を実施していく。6月にオープンスクールを開催し、生徒を募っていく。

の事業に質問集中

一般会計

恥ずかしくないものを

総務課

町民バスの今後は

高橋 町民バス運行1163万6千円の内訳と今後は、1キロ200円

織田総務課長 30年4月

から、新たに桐見川越知線と宮ヶ奈路越知線が町民バスとなる。

1キロ200円で計算しており、運行距離が変化しない限りこのまま推移する。



購入した14人乗りの町民バス

齋藤 町が資料提供し業者が取りまとめるだけの町史統編作業に、何百万も払う値打ちがあるのか。作業内容は、町民も議員も知らないが、恥ずかしくないものを作れ。

委員の意見を反映

小田町長 委託費は高額であり、編集の期間も短い。委員の意見をきちんと反映させて進める。

織田総務課長 今回の主な内容は、道路や建物など行政的な観点がいまメインだが、職員が全部の作業をするのは無理と判断し、業者委託とした。

上限はあるか

齋藤 30年度末地方債残高は65億3585万円だが上限はあるか。

織田総務課長 70〜75億円まで抑えたいと考えている。

企画課

日ノ瀬公園トイレ

齋藤 日ノ瀬清流公園のトイレは、便器が汚れてすこい色だ。時々見回って、観光客などが気持ちよく使えるよう対応せよ。

中内企画課長 1カ月に2回程度清掃しているが、見回りの頻度を検討する。



トイレがきれいになると気持ちが良い

定住促進住宅

齋藤 1区定住促進住宅の売り出しは、4区画に對し1区画しか申し込みがないが、次の手は打つか。

住所要件を外す

中内企画課長 住所要件を外し、町外向けにも募集を掛ける。

調査目的は

高橋 観光客動態調査業務70万円の目的は、

観光商品開発

中内企画課長 携帯電話のGPS機能を活用して町内の移動等を解析し、新しい観光商品の開発につなげていく。

企画課と産業課

議案質疑

キャンプ場備品

武智 キャンプ場の備品購入費1057万7千円の中にある送迎車両の車種と管理者、使用範囲は、その他の備品は、

スノーピークが管理

中内企画課長 車種は14人乗りの小型バスだ。管理はスノーピーク社で、本村く日ノ瀬間で力ヌー・ラフティングの利用者の送迎に使用する。



スノーピーク仕様の送迎車

キャンプイベント

武智 キャンプイベントの対象者は、小学生の親子ということだが、学校やPTAとの話はできて

他の備品は、ラフトボード4艇の他、ボート運搬用トレーラー、ライフジャケット、ポンプ、高圧洗浄機などだ。

中内企画課長 町内の小学生の親子を考慮しており、去年の参加者の他、教育委員会とPTA役員さん等と話している。

起業支援補助金

高橋 地域おこし協力隊起業支援補助金は、どういうことに使うのか。

協力隊3人分

中内企画課長 協力隊が卒業後、町内で起業する場合の補助金で、3人分を計上している。

集落支援員

齋藤 増員の地区や内容は決まっているか。

野老山を予定

中内企画課長 野老山地区で野菜等の集出荷や集落の行事などの支援を予定しているが、人は決まっていない。

武智 集落支援員が調査し、どのようなことが把握できたのか。

中内企画課長 人に会うこと自体が難しいことと高齢化によりマンパワーが不足している。

体験観光強化事業

市原 仁淀川を生かした体験型観光強化事業12億6757万円の内訳は、

一般財源2億5千万円

中内企画課長 工事費は日ノ瀬が5億7千万円、宮の前が5億4千万円で、その他設計料、用地等の補償費、備品購入費等が含まれる。

主な財源は、地方創生交付金、施設整備交付金、県補助金、過疎債を借りるので、実質的な一般財源の負担は2億5千万円くらいとなっている。



ラフティングツアー最高!

熱中小学校

小田 定員や人選の仕方は決めているか。

中内企画課長 受講者は70〜80人で考えているが、定員は決めている。

産業課

有害鳥獣対策

寺村 イノシシの駆除費を年間通して出せないか有害鳥獣被害対策協議会で図ることだったが、内容と結果は。

県に要望していく

田村産業課長 狩猟期間中は、持ち込まれたイノシシの捕獲場所が町内外か確認できないので、町単独で進めるのは難しい。県内で統一した捕獲報償費が支払われるような制度の確立を要望していきたい。



捕獲されたイノシシと確認のため切り取ったシッポ

558万円の内容

武智 有害鳥獣被害対策事業補助金558万円には、個体処理費は含まれていないか。肉の商品化の計画は。

処理費は含まない

田村産業課長 捕獲と出務の助成金であり、残渣の処理費は含んでいない。商品化の必要性は感じているが、計画や検討会の予定はない。

農業振興の協力隊

武智 30年度に農業振興のため、地域おこし協力隊を新規に2人募集になっているが、めどは立っているか。

田村産業課長 1人応募があり面接をした。返事を待っているところだ。

経営安定策

武智 農業体験をミックスンとして募集する地域おこし協力隊に対して、経営安定のための品目などは考えているか。

多品目による経営

田村産業課長 県の施設での研修や農家の作業体験を通じ、多品目での経営を推進したい。

就農者の相談役は

武智 新規就農者は、準備型・経営開始型など合計16人を予定にしているが、計画立案や技術指導などの相談役は置いているか。

JAのOBを雇用

田村産業課長 通常は産業課で雇っている元JA職員が相談等に当たっているが、高吾農業改良普及所の専門職員にも相談に乗ってもらっている。

農と商の連携強化

武智 農と商の連携強化を支援し地産外商が進めば、地域経済が回るが、商工会へ協力隊を入れてはどうか。

田村産業課長 30年度は計画していないが、商工会とは話したい。

新規就農の人数

武智 各種の新規就農補助金等の予定人数は。

田村産業課長 就農研修事業補助金は2人、ふるさと就農給付金1人、農業次世代人材投資給付金準備型1人、同経営開始型は継続4人と新規2人を予定している。



特産のショウガの生産は雇用効果にも貢献

建設課

耐震工事の件数は

高橋 耐震改修補助金4900万円は、29年度の4倍だが内訳は。

戸別訪問の成果

前田建設課長 危機管理課の戸別訪問の成果もあり40軒分を計上した。



構造用合板と接合金物などで耐震補強がされる

間伐事業

西川 緊急間伐総合支援事業の現状は。

県単事業で実施

前田建設課長 県単事業で行っており、30年度は搬出間伐3・6ヘクタール、作業道の開設860メートル等に補助する。

森林資源解析後は

小田 森林資源を解析した後、生産につなげる制度はあるか。

搬出間伐

前田建設課長 高吾北3町で施業地の集約化をし、搬出間伐など国の制度活用につなげる。

教育委員会

プール監視

斎藤 プール監視等委託料257万円は。

一般開放

谷岡教育次長 中学校のプールを一般に開放するための経費だ。

中学生の国際交流

寺村 最近朝鮮半島情勢も緊張が緩和しており、グアム島も可能ではないかと思うが考えは。

斎藤 中学生国際交流事業は、どういう方法でやるのか。

オーストラリアを予定

教育長 まだ、完全に危険がなくなっていないので、30年度はオーストラリアを検討している。引率者3人と選抜で10人を予定している。

危機管理課

マニュアルの配布

市原 避難所運営マニュアル策定業務の内容と配布先は。

概要版を全戸配布

上田危機管理課長 30年度は明治西部、東部公民館を避難所とした運営マニュアルを作り、誰が避難者となっても円滑に運営できるようなルールなどをまとめ、概要版を地域の全戸に配る。

支援の対象者は

西川 防災士資格取得支援の対象者は。

上田危機管理課長 町民が対象だが、できるだけ自主防災組織の役員などにリーダーシップを発揮していただきたい。

30年～32年度 介護保険料アップ

介護保険

第7期介護保険事業の計画策定に伴い、平成30年度から32年度までの3年間の介護保険料が改定となり、基準月額6725円で490円の増となった。

65歳以上の被保険者が負担する保険料の割合が、国の定めにより、今期から1%上がる。

要介護認定者数が増え、各種サービス利用に対する保険給付費の伸びが予想されること、消費税の増税や介護職員の処遇改善、介護報酬改定などが保険料に影響を及ぼすことによる。

《賛成・全員》

国保

平成30年度から都道府県が国民健康保険の運営主体となり、法令に対応する条文を整備する。

《賛成・全員》

職員定数増加

職員の定数を見直し、113人から115人に改正する。

《賛成・全員》

簡易水道

野老山地区を新たに簡易水道地区として追加し、鎌井田地区の料金体系を定額制から計量制に変更する。

《賛成・全員》

課税方式は

齋藤 国保の課税方式を見直すところもできていくが、資産割の将来の方策は。

《賛成・全員》

過疎計画

法律に基づき、計画の変更をする。

《賛成・全員》

追加分

産業の振興

PR番組等制作放送事業
・町の認知度向上し観光客増加につなぐことを目的とし、町の情報発信から経済的波及効果増加をねらう。

交通通信体系の整備、地域間交流の促進

町道の改良・舗装
・栃ノ木線 他5路線

橋りょう

・宮の谷橋 他4橋

特別事業

・一斉メール配信システム設置事業
地震災害時に迅速な対応を図るため、職員参集システムを設置する。

なぜ入っていない

武智 32年度までの過疎地域自立促進計画に光ファイバー網の整備がなせ入っていない。

検討の最中だ

織田総務課長 どこまで整備するのか、民設民営、公設民営等の両面から検討中で、決定していないので、今回の過疎計画へ載せることができない。

内容は

山橋 30・31年度鎌井田本線の事業費がゼロとなっているが、今後の計画は。

前田建設課長 早期完成が望めないのであれば、現道の拡幅という地区の声も多数あった。平成32年度までに方向性を検討したい。

生活環境の整備

町営住宅解体事業

集落の整備

集落再編整備

・横島西部集落活動センター1改修事業
地域住民が主体となり、地域外から人材も受け入れ、旧小学校を拠点に地域の課題やニーズに応じて、生活・福祉・産業・防災などの様々な活動に取り組みめる場所をつくる。

《賛成・全員》



旧県道であるが、道路幅員が狭い鎌井田地区内の町道

工事請負変更契約

町道下ノ谷堂林線道路災害復旧工事

工事期間中、多量の降雪にみまわれ、工事を中断せざるを得なくなり、29年度中の完成が困難となったため、路側復旧工事を削除したことによる減額

変更後 59,328,720円
(7,186,720円の減額)
契約相手 織田建設(有) 織田隆寛 《賛成・全員》



雪により路側工事が遅れた現場

日ノ瀬キャンプ場造成工事

地盤改良のための盛土搬入、補強土壁内部への浸水対策用防止遮水シートを路盤下へ追加、基礎部分の洗掘防止対策根止工(かごマット)追加などによる増額。

変更後 97,806,960円
(29,118,960円の増額)
契約相手 (有)片岡組 片岡大介 《賛成・全員》



洗掘防止対策としての根止工(かごマット)

日ノ瀬キャンプ場管理棟建築他工事

造成法面の浸食対策として植生マットの仕様を変更、警備機器の追加、植栽の樹種の変更による増額

変更後 366,868,389円
(5,169,909円の増額)
契約相手 (株)開洋 濱田幸一 《賛成・全員》



浸食対策として植生マット

人事

教育委員の任命

小田玲子氏(越知甲)



岡田和代氏(越知甲)



任期は、それぞれ平成34年3月31日まで。

《同意・全員》

陳情

後山地区の水道管理の要望

《採択・全員》

総額56億8494万円

一般会計

1億3577万円を減額

町債（借金）1630万円減額、基金繰入金1億1790万円減額

企画課

浅尾お試し住宅

浅尾お試し住宅の改修工事施工監理委託料・改修工事。
予算額1296万円

武智 古民家を使うことは、移住に効果があると思うが、契約期間と借り上げ料は。

中内企画課長 借用期間は12年間だが、借り上げ料は算定できていない。



改修予定の古民家

空き家改修等補助金

空き家を改修するため費用を補助する。
予算額365万円

山橋 空き家改修補助金364万8千円の件数と場所は。

中内企画課長 2件分の予算を確保した段階で、申し込みがあればということ。

議案質疑

総務課

ふるさと寄付金

武智 ふるさと寄付金謝礼1260万6千円減の理由は。

返礼品割合3割
織田総務課長 返礼品の割合を3割にしたことが影響したと思われる。

企画課

山橋 ふれあい高負担金150万円の内容は。

中内企画課長 高知新聞のふれあい越知町が予定されている。キャンプ場等をはじめ町のニュースを重点的に報道し、人と情報が集まる町の魅力を発信するような企画のようだ。

キャンプ場

市原 事業費、財源は。

中内企画課長 総事業費累計で12億6758万円。工事費は11億7000万円の見込み。
財源は国の交付金2分の1、県補助金10分の6や過疎債を活用している。

産業課

武智 新規就農研修事業の補助金減額は候補者探しをどの範囲でやったか。

田村産業課長 移住フェア等相談に来た時に話をしている。県の広報紙等、ホームページに載せてもらっている。

農業次世代人材投資給付金

武智 農業次世代人材投資給付金375万円が減った理由は。

田村産業課長 8人を予定していたが、継続5人新規1人となり、2人少なかった。

建設課

山橋 農村地域防災減災事業負担金300万円の説明を。

前田建設課長 筏津大橋が耐震基準に満たないことが判明し、落橋防止工事をするための負担金だ。



落橋を防止する筏津大橋

条例の一部改正

臨時会を、1月26日に開き、平成29年度一般会計補正予算、工事請負変更契約の議案5件を全会一致で可決しました。

予算

人件費307万円を追加、総額を58億7164万円とする。
《賛成・全員》

工事請負変更契約

- 一般職の職員の給与に関する条例
人事院勧告に準拠し、月給を400円から千円引き上げ、勤勉手当も0・1月分増やす。4月にさかのぼって適用する。
《賛成・全員》
- 町長等の給与及び旅費に関する条例
- 議会議員に対する期末手当の支給に関する条例
人事院勧告に準拠し、それぞれの期末手当の支給割合を0・05月分引き上げる。
《賛成・全員》

町道下ノ谷災害復旧工事
施工箇所が増えたことによるもの
変更後 66,515,040円
(11,214,980円の増額)
契約相手 織田建設(有) 織田隆寛
《賛成・全員》

集落活動センター事業 9075万円

3月28日に開いた臨時会では、平成29年度一般会計補正予算1件と専決処分1件を、全会一致で可決・承認しました。



集落活動センターとして改修予定の横島西部公民館

建設課

山橋 農村地域防災減災事業負担金300万円の説明を。

前田建設課長 筏津大橋が耐震基準に満たないことが判明し、落橋防止工事をするための負担金だ。

専決処分

町有財産の無償贈与

横島西部集落活動センター改修事業9075万円を追加し、繰越明許とする。
地方交付税の確定により財源調整を行い、予算総額を57億7630万円とする。
《賛成・全員》
宝くじの助成事業で建設した熊秋集会所を「熊秋会」代表者 藤原隆英に無償贈与する。
《承認・全員》



建て替えられた熊秋集会所

総務教育常任委員会（委員長・市原静子、副委員長・山橋正男）5人は、2月2日に所管事務調査を行い、調査結果を取りまとめ3月定例会で報告しました。



市原静子



山橋正男



斎藤政広



西川 晃



岡林 学

保育園照明増設 工事・エアコン 取り換え工事 （教育委員会）

各保育室にLED照明が設置され良好だが、保育室以外の部屋にも順次設置が望まれる。
エアコンは3部屋が取り換えられたが、ひよこ組には2台設置することで、間仕切りを利用し節電につなげている。
他の部屋のエアコンも古くなっており、取り換えが必要だ。
その他では、天井や廊下の壁の劣化、雨漏り2カ所、トイレの改善及び保育士不足が課題となっている。



外気に触れ便器は寒い



間仕切りのあるひよこ組

西庁舎建設事業 （総務課）

用地買収後、駐車場として有効に利用されているが、年次計画を立て周囲の土地の買収と建設資金の調査研究を行う必要がある。



早期着工と1階へは集会ホールの設置が望まれる

7区困窮者支援 住宅建築工事 （総務課）

リフォームとは思えない立派なものができている。住む人がいない間は、空気の入れ替え等の適切な管理が必要だ。



施設の利用はまだない

横倉山自然の森 博物館修繕工事 （教育委員会）

展示ケース内LED工事は、見違えるように明るくなり、展示物がきれいに見えるようになった。
展望ロビーと図書室雨漏り修繕工事は、当面はしのげるが常時注視をする必要がある。
循環ポンプ修繕工事は、池が清潔に見えるようになった。
浄化槽の緑や出入り口付近の陥没の修正と館内の排煙窓が開閉できなくなっているのを、早急に修繕すること。
空調機能も低下しているため、修繕の検討が必要である。



鏡のようになった池



明るくなった展示ケース

熊秋集会所建築工事 （総務課）

既存施設より約50メートル西側に建築されている。機能性を重視した洋室と8畳の和室となっており、近代的な施設となった。



テラス設置によりイベント開催等が容易になる

横島西部公民館 テラス設置工事 （教育委員会）

雨の吹き込みがなくなり、利便性が向上し、イベント等をするには良くなった。
体育館のトイレは汲み取り式であり、早急な洋式・水洗化の整備を望む。

坂道から公民館の玄関へ入る道は、花壇を除去し側溝にふたをし、隅切りを設置すれば、車の乗り降り等も便利になるので検討すること。



地区の要望が多く取り入れられている

産業建設常任委員会（委員長・小田範博、副委員長・寺村晃幸）5人は、2月9日に所管事務調査を行い、調査結果を取りまとめ3月定例会で報告しました。



小田範博



寺村晃幸



武智 龍



高橋丈一



岡林 学

町道山室線災害応急復旧工事

（建設課）

上部分は、吹付法砕工及び鉄筋挿入工による施工がされており、強固に安定している。下部分は、ボーリング調査中である。

北側の民地部分を含め予防的に安定勾配が確保できる復旧工事ができなにか検討されたい。



上部分は強固な施工が施されている



北側の斜面部分

町道下ノ谷堂林線復旧工事

（建設課）

大規模な山腹崩壊で通行止めとなり、地区住民には大変不便を掛けていたが、復旧工事により解消された。

新たに設置されたロックネット内に落石が見られるので、法面修繕ができないか検討されたい。

また、追加工事は全面通行止めでの施工となり、迂回路は冬場積雪が多く危ないため、工期を延長したことは住民の安全確保のため賢明な選択だ。



右側のロックネットが不安定に見える

町道宮ヶ奈路1号橋修繕工事

（建設課）

県との協議などもあり工事は進んでいない。床版が剥がれ落ちていますが、川利用者対策としてネットを張り安全を確保している。

左岸の橋脚下部が洗掘されており、早期完成を望む。



橋脚の下に大きな空洞ができています

野老山地区の水道施設整備事業

（環境水道課）

15区の1から18区の1までの施設が近代的となり、安心安全な飲料水の確保ができ、生活環境が大幅に改善されることになる。

水道事業の重要性を認識し、今後も要望のある地区については、早期に対応するように願う。



減圧水槽も数カ所に設置される（15区2）



最上部にある第1配水池（17区2）

日ノ瀬キャンプ場造成及び管理棟建築他工事

（企画課）



管理棟（左）と炊事棟（右）



フリーサイト内にあるサニタリー棟



管理棟内部

4月オープンに向け造成工事が急ピッチで進んでいる。建物には、県産木材がふんだんに使われ、木の香りが漂う快適な木造平屋となっており、完成後は、滞在型観光施設として、青く澄んだ「仁淀ブルー」が眼下に広がるキャンプ場への集客が期待される。管理棟と炊事棟をつなぐ屋根や外灯の設置など、状況を見て検討してみてもどうか。



芝生を張る作業が遅れる

住民との意見交換の場を増やして

2月に横畠本村集会所で開催

今回で11回目となる議会報告・懇談会を、2月14日に横畠本村集会所で開催したところ、本村・堂岡・梅ノ森から19人（男9、女10）が参加して活発な意見交換ができました。

初めに、岡林議長の挨拶の後、斎藤副議長から議会の仕組みや活動概要等の説明、武智広報常任委員長から12月定例会の報告などを行いました。

その後、西川議会運営委員長の進行で懇談会に移り、道路改良や財政運営、議会と住民の関係改善などについて厳しい質問や具体的な提案が相次ぎ、会場は予定時間をオーバーするほどの熱気に包まれました。



岡林議長あいさつ

本日はたくさんの方が参加していただき、ありがとうございました。ありがとうございます。

忌憚のないご意見ご要望をお聞きし、今後の議会活動に取り入れ、町の課題や問題解決に取り組みたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

道路行政

住民 県道18号線をちやんとせんといかん

議員 すいキャンプ場を造っているが、人が来て楽しむ、越知へお金が落ちるためには、県道18号線をちやんとせんといかん。

定住支援

住民 新規就農者支援を

議員 地域に帰って農業をしている若者を応援するお金はないか。

光通信の整備を

住民 光通信は、市街地以外は入っていない。よい方法を考えてやってもらいたい。

議員 市街地以外の事業所は、日常の業務上困っているのでは何か議会提案をした。

町は検討すると言っているが、若者の雇用にもつながる大事なことなので、再度話したい。

議員 新たに農業しようとする場合は新規就農制度があるが、親元就農の場合はこの制度は適用されない。

議員 独自にやっている市町村もあるので、町の地方創生事業の中で、そういう窓口をつくらないかというご提案は議会からできる。



防災拠点

住民 屯所の整備を急げ

議員 農協の旧横畠支所を消防屯所として活用できないか

議員 以前、執行部に話したが、土地所有者や農協との契約の関係で、手が付けられないとのこと。そのままになっている。

住民 話すなら早くしないと、農協が合併したらよけい難しくなるのでは。

住民 うちの屯所がないので、有事のときに使う毛布を車庫に積んであるが乾燥させないと使えない状態だ。茶も沸かせないし椅子もない。

議員 JAの問題は、議会でできるだけ早く検討し、執行者と協議する。

財政運営

住民 協力隊の負担は

議員 協力隊の活動費はどこが負担するか。

交付税で措置

議員 特別交付税で措置されており、給料の16万5千円の他家賃、車の借り上げ料など1人当たり400万が活動経費として交付される。

住民 借入金の返済計画

議員 大きな借入金は、どれくらいの期間で返せるのか。予算的なビジョンが立っているのか。

議員 数年間の収支は見えるが、いつチャラになるかまで計算したものはない。

議員 町のお金のやりくりは複雑で、すべては検証しづらい。それぞれの返済計画を立てて予算に反映している。

キャンプ場は

住民 宮の前と川下（日ノ瀬）のキャンプ場施設の観光客はどれくらい見込んでいるか。

議員 町の資料では、年間7万3700人の利用者があるの見込んでいる。売上は9600万円。仕入れ原価と人件費、その他の経費を差し引いたら1300万円の赤字となっている。

集落内の舗装を

住民 本村の中央道は幅が狭く路面も悪いので、運転も難しく高齢者は歩きにくい。拡幅して舗装してもらえないか。

議員 町へは提言させていただいたので、拡幅部分の地権者の了解をお願いしたい。

住民 本町にとつては、準社員3人とバイト3人の地元雇用がメリットだ。

住民 町は箱もんばかりこしらえゆうが、夕張市と一緒にならんか。

議員 交流客を増やすことを目的に、良いものは早く造って皆に利用していただき、借金払いは後々やっていくのも町財政のやり方のひとつだ。借りるのが悪いと思われると、財政運営は難しくなる。

議会の役割

住民 住民の声を聞く機会を増やして

住民 町民は子や孫に借金を残さないようにしているが、行政は腹が痛くないお金という考えであれば横着に思える。キャンプ場事業などは、決まる前に住民の声を聞いてほしい。

住民 住民の意見を吸い上げたうえで執行部から出た議題でないと、傍聴しても魅力がない。住民の意見を聞く機会を設けることを強く望む。

住民 議員は集落の人の思いや、どんなことに困っているのかを聞いて執行部に上げ、施策に反映させてもらいたい。

議員 このような懇談会は、議会基本条例で年1回以上やることになっているが、回数を増やすよう検討する。

議員 私たちもできるかぎり皆さんの声を町政に生かせるよう、全員で頑張りたい。

議員報酬改正の諮問要請



町長へ要請する岡林議長 (左)

特別職報酬等審議会へ諮問を要請

本町議会は、議会運営委員会の議員報酬改正に関する調査報告を基に、平成30年3月14日、町長に対し議員報酬を15年度水準に戻すよう特別職報酬等審議会へ諮問することを要請した。

議会改革の推進

議会は、二元代表制の下で、町民の声をくみ取り政策を立案し議決し、行政に対する監視機能を果たすなどの重要な役割がある。

本町議会は、町民に信頼され開かれた議会を確立するため、24年に議会基本条例を制定し、議会改革に取り組んでいるところであり、今後も継続させ議会の活性化を図ることが必要である。

長引く最低クラス

議員報酬は、三位一体改革のあおりで、16年度から3年連続で引き下げ、県内23町村中、議長が最低の22万4千円、副議長、委員長、議員も最低水準となり12年が経過した。

議員定数も、議員自身を削り、14年に14人であったものを26年には10人としている。

3年で15年度水準へ

昨今、議員のなり手不足が深刻な問題となっており、これを解消するため女性や若い世代が活躍でき、より幅広い層の住民が立候補しやすい環境づくりが求められている。

要請は、30年8月の改選時期に合わせて、議員報酬を表のとおり3年間で15年度水準に戻す内容としている。

区分	平成30年9月1日施行	平成31年9月1日施行	平成32年9月1日施行(平成15年度水準)
議長	月額243,000円	月額265,000円	月額274,000円
副議長	199,000円	217,000円	224,000円
議員	179,000円	195,000円	202,000円

一般質問

市原静子・23ページ

- ① 就学援助
前倒しできないか
- ② 認知症対策
町独自の対策はないか
- ③ 乳がん検診

小田範博・24ページ

- ① 政治姿勢
どのように取り組んだか
- 子育て環境の整備
- 山間集落の生活環境整備
- 農業・商工業担い手育成
- 農産物の加工・販売支援

高橋文一・25ページ

- ① 教育活動
中学校の部活動の現状は
部活数を減らすのか
- ② 特別活動
体力測定の結果は
- ③ 特別養護老人ホーム
入所待機者数の現状は

就学援助

前倒しできないか

31年度から実施したい 教育長



● 要保護
国は、生活保護法の規定により、必要な援助を行っています。

要保護に対して就学前の支給は補助対象にならなかったが、改正により要保護と準要保護の場合も援助費が支給となった。1人当たりの想定額は、小学校が4万6000円、中学校4万7400円、1年度前倒し支給する。

山中教育長 31年度の小・中新入生から前倒しで実施したい。
要保護に対して就学前の支給は補助対象にならなかったが、改正により要保護と準要保護の場合も援助費が支給となった。1人当たりの想定額は、小学校が4万6000円、中学校4万7400円、1年度前倒し支給する。

問 就学援助は、経済的に厳しい家庭の子どもを支援するものであり、昨年3月、国の補助金交付要綱の対象に「就学予定者」を加える改正が行われた。
入学前のランドセル購入費などを支給する自治体が増えているが、本町も前倒しできないか。

認知症対策

町独自の対策はないか

地域包括センターに相談を

住民課長

問 認知症初期の段階では、本人や介護する側で苦労している。
しかし、どうしたらいいのかわからない人たちがまだまだいる。
町独自の対策はないか。

町独自の対策はないが、地域包括支援センターに相談していただきたい。
認知症初期集中支援チームの体制を整え、相談しやすい雰囲気をつくっている。

町内では、量販店の従業員向けの認知症サポート養成講座を受けた25人が見守っている。
また、町内で利用できる医療、福祉をはじめ様々なサービスをまとめた手作り冊子を全戸に



福祉をはじめ様々なサービスをまとめた冊子



保健福祉センターで実施している総合健診

乳がん検診

問 乳がん検診の対象者は40歳以上であるが、早期発見で早期治療につながるために、対象年齢を引き下げ30歳から実施できないか。

未満の有効性は証明されていない。
自治体は、科学的根拠に基づいてがん検診を推進しており、本町も30代は実施しない。

現在、年3回の乳がん検診を実施する中で早期発見につながるよう、乳がんグループなど、自己健診法の説明と周知に努めている。

結城保健福祉課長

マンモグラフィー検査は、40歳以降は有効だが、40

どのように取り組んだか 強みの体験型観光を推進

町長



小田範博 議員

問 前回立候補の際、町の強みを生かし、弱点を補う町づくりを進めると公約していたが、この4年間具体的にどのような取り組みを行ったのか。

小田町長 強みである恵まれた自然を生かした体験型観光を推進、また、県内トップクラスの教育環境を整え頑張ってきた。弱点は少子高齢化による人口の減少であり、県と連携した定住・移住政策、既存旅館と合わせた宿泊機能充実による滞在型観光、高齢者対策として健康づくりや交通手段の確保に取り組んできた。

子育て環境の整備

問 将来の越知町を担う子どもたちの育成は最重要課題の一つであるが、どのように環境整備を進めてきたか。



滞在型観光施設として期待が高まる隈研吾氏設計のスノーピーク社製「住箱」

小田町長 平成27年度から第2子以降の保育料無料・幼稚園の授業料減額、高校生の通学支援、新生児には木のおもちゃと木育冊子の贈呈、不妊治療の助成金を支給してきた。28年度からは、母乳相談等の助成金を支給している。

山間集落の生活環境の整備

問 水道事業や道路開通などは一定の評価ができるが、高齢化などにより山間集落は存亡の危機にある。人口減対策はどのように取り組んできたか。

小田町長 集落支援員を配置し、見守りや農家の支援を行った。持続可能な公共交通の確保として、町民バスの運行を開始した。若者が住める環境整備が今後の課題である。

農産物の加工・販売支援

問 農産物は手を掛ければ付加価値が上がり生産者に還元できる。加工所があれば、新たな産業が生まれ町の活性化につながると思うが、どのように取り組んできたか。

小田町長 ふるさと納税制度、土佐茶産地育成事業の活用。色彩選別機を導入して米の品質向上につなげた。加工所はできていない。

特別活動

体力測定の結果は二極化はしていない

教育長

問 体力測定の結果は、全国的に二極化になってきているようだが、本町の子どもは。

山中教育長 小学5年生は男女とも全国平均より高い。中学2年生の男子は少し下回っているが、女子は高くなっている。二極化はしていない。

教育活動

中学校の部活動の現状は 野球部・サッカー部は人数不足 教育長



高橋文一 議員

問 中学校の部活動は人数不足の部もあり、他の中学との合同練習をしていると聞かれました。また、部活数は。

山中教育長 9月から3年生が抜け、野球部とサッカー部が足りていないが、野球部は加茂中学校と土日に合同で練習している。部活は8つある。

部活数を減らすのか
問 小学校を卒業後、私立中学校やスポーツなどで他の学校に行く子どもが増えている。今後は、部活の数を減らすのか、それとも今のままでいくのか。

単独で参加

山中教育長 新年度に1年生が入れば、野球部、サッカー部も単独で大会に参加したい。今後は、学校と保護者が基本的に決定するが、



部員が減り大会に単独で参加することが厳しい野球部とサッカー部



特別養護老人ホーム

入所待機者数の現状は 減少傾向にある 住民課長

平成30年3月1日現在待機数等

施設名	定数	待機者数
五葉荘	80	26
春日荘	112	33
あがわ荘	50	4
もみじ荘	50	1

問 高吾北広域管内の特別養護老人ホームの入所待機者数の状況は。また、今後の課題は。

國貞住民課長 待機者数は、長年各施設に重複して申し込みをしており、実数がかみかかった。ここ数年、管内には民間の老人ホームなどができ、施設入所の選択肢が増え、待機者数は減少傾向にある。介護者が高齢となつて、運転免許証の返納などにより、バスで面会に行きやすい本町や佐川町への入所希望者が集中することが今後の課題となっている。

あれはどうなっちゅうが？

広域議会

第1回定例会が、2月27日に開かれ、30年度各会計予算、29年度補正予算、条例の一部改正など11件を全会一致で可決しました。

一般質問には、1人が登壇しました。

組合長報告

救急搬送者の78%が高齢者

消防署の29年中の救急出動が前年と同じ1549件で、1日平均4・2件となっている。

全国平均の搬送者は23人に1人だが、高吾北は16人に1人となっている。このうち65歳以上の高齢者が約78%占めており増加傾向にある。

また、管内には脳疾患、心疾患の受け入れ可能な病院がなく、高知市内などへの管外搬送が約60%を占めている。

そのため、2台の救急車が出動中にも救急要請が入るなど、現状では即応できず、消防隊員が初動対応するケースがここ数年増えている。

ことしの事業ピックアップ

- 清掃センター基幹的施設整備工事 **11億4134万円**
- 高吾苑待合ホール棟耐震補強工事 **2430万円**
- 分署高規格救急自動車購入 **2992万円**

30年度当初予算

会計名	予算額	前年度比	
一般会計	20億1468万円	11億9812万円	
特別会計	特別養護老人ホーム	12億1169万円	1774万円
	養護老人ホーム	1億1258万円	199万円
	障害者支援施設	1億7355万円	343万円
	ふるさと市町村圏	1148万円	△2041万円
合計	35億2398万円	12億87万円	



ごみ焼却炉などの更新が予定されている清掃センター

集落活動センター

武智議員 (26年9月) 山間部には、数年以内に集落が維持できなくなる「限界集落」があり今後も増加する。県の「集落活動センターを核とした集落維持の仕組みづくり」は、地域の課題解決に有効だが、取り入れの考えは。

小田町長 集落活動センターありきではなく、住民との意見交換の中で集落機能を維持することは検討したい。

片岡清則議員 (26年12月) 山間集落は人口減少の一途をたどっているが対応は。

中内企画課長 集落活動センターやあったかふれあいセンターなど、住み慣れたところで暮らしていく仕組みづくりを構築したい。

武智議員 (27年3月) 越知町版総合戦略は、何に重点をおいて取り組むか。

小田町長 人口減対策が最も重要だ。農林業、観光、起業家の育成支援、結婚、子育て、空き家の活用、集落活動センターなどを考えている。

武智議員 (27年6月) 限界集落数と問題点は。今後の集落支援の考えは。

中内企画課長 限界集落数は34となり、共同生活の維持が難しくなっている。これらの課題解決のため、集落活動センター設立を検討している。

高橋議員 (28年3月) 集落活動センターの取り組み方、場所、開設の時期は。

中内企画課長 6つの旧小学校区で、31年度までに2カ所を目標にしている。

武智議員 (28年9月) 地域には集落活動センターの制度を活用して支援したいというメッセージが伝わってない。協議の場を設ける考えはないか。

小田町長 野老山地区で支え合いの仕組みづくりに取り組んでいるが、集落活動センター実現に向けた町の意思表示が欠けていたと思う。

中内企画課長 31年度までに2カ所開設を予定しており、27年度から横畠を皮切りに話し合いを進めている。



横畠西部公民館で、毎年開催されているいも煮会

一般質問

竹本文直議員 (仁淀川町)

職員数と介護職員の人材確保は

問 組合は多種多様な業務を行っているが、全職種の職員数と各町別の在住者数は。特に介護職員は、人材の確保に非常に難儀しているようだが、定数割れを起こしていないか。

答 町別の正規職員は、佐川町96人、越知町69人、仁淀川町40人、その他20人となっている。介護職は敬遠される傾向で、定員割れが続いており、臨時職員の確保にも苦慮している。特養の人員基準は入所者3人に対し、介護職等が1人以上であり、基準は満たしているが、利用者の重度化や徘徊者等認知症の対応も増えており、財政状況を考慮しながら人員配置できるように考えたい。

臨時職員の確保に苦慮

橋本事務局長 定数は事務部局が196人、消防職員は49人。職員数は、行政職48人、消防職員は1年を経過しない職員を定数外で置くことができ51人。看護職11人、介護職等現業職が115人で合計225人。臨時職員は、介護職が一番多く59人。

処理状況

横畠に1カ所目の組織が設立される

まち・ひと・しごと総合戦略 27年度に作成した「まち・ひと・しごと総合戦略」に、地域の暮らしを守るため、集会所や旧小・中学校などを「集落活動センター」として整備することを位置づけた。

事業説明と先進地視察 27年度、横畠西部地区で集落活動センター事業内容の説明を行い、本山町の集落活動センター汗見川を視察した。

地区への話し合い 28年度、横畠西部地区で集落活動センター開設に向けたワークショップを4回開催。29年度、活動内容や活動拠点となる横畠西部公民館改修計画の話し合いを9回開催。

集落活動センター組織設立 30年3月に、横畠西部集落活動センターの運営組織が設立された。

活動拠点施設の改修 30年3月に改修工事費の補正予算を可決した。

【15面に関連記事】

122号から始めた取材記事「若者登場」は、18歳で選挙権が与えられたことをきっかけに、若者たちにインタビューした記事を連載しています。今号は、高知市内の高校に汽車通学をしている西森龍待さんと畑山光里さん（共に17歳）に、議長室に来ていただいております。

はたやま ひかり
畑山光里さん
(高知商業高校3年 女川)

にしもり りょうま
西森龍待さん
(高知学芸高校3年 女川)

問 今日はお二人とも、部活を早退して来ていただきありがとうございます。部活は何をされていますか。
西森 越知中学校では吹奏楽部でしたが、高校生になってからは好きなテニス部に入り、今副キャプテンをしています。
畑山 中学校では野球部に入っていました。高校でも男子ソフト部のマネージャーをしています。

問 越知町で、今後も残してほしいことは何ですか。
西森 祖母とイタドリやワラビ採りをした思い出があるの、ずっと自然を残してほしいですね。
畑山 中学校の部活が終わった後、よく仁淀川で遊びました。私も自然を残したいと思っています。
問 最後に将来の夢を聞かせてください。
西森 母の背中を見ていて、看護師になりたいと思っています。資格を取るため一度は県外に出ますが、将来は地元に戻ってきたいですね。
畑山 兄が看護学校に行っているの、私も県内で看護師か公務員になりたいと考えています。

*終了後、議場の質問席や答弁席、議長席などを実際に体験していただきました。

議会を傍聴しませんか

3月定例会の傍聴者は延べ3人でした。次の定例会は6月8日開会の予定です。大勢の傍聴をお待ちしています。



編集後記

数十年に一度の寒さ厳しかった冬から、柔らかな日差し溢れる春へと移り、新年度がスタートしました。

春といえば、卒業・入学・就職などで、期待と不安が入り交じった複雑な気持ちになる時期だと思います。

議会事務局は、4年間お世話になった岡林局長が退職し、後任として中内局長を迎え新たな体制で、議会広報をお届けすることになります。

議会人として、これからも山積する様々な課題に正面から取り組み、わが町が生き残るための提言を執行部に行っていきます。

《小田》

編集・発行責任者	議長 岡林 学
議会広報常任委員会	委員長 武智 龍
	副委員長 高橋 文一
	委員 斎藤 政広
	委員 市原 静子
	委員 小田 範博

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。